

2 逃亡者たち

I

水が勢いよく流れ
白き^{ひょう}雹が打ちつけ
稲妻が光り
白き水しぶきが舞い踊っている
逃げろ！ 5

風が渦巻き
雷鳴が轟き
森は揺れ
教会の鐘が鳴り響いている
離れろ！ 10

大地は大海のよう
残骸をまき散らし 荒れ狂っている
鳥も獣も 人も虫も
嵐から這い出している
離れろ！ 15

II

「我々の船の帆は一つ
舵取りは青ざめた顔
勇敢な舵取りではあるが
今は我々に従うべきだ」
男は叫んだ 20

女が大声で「^{うまろ}上手く櫓を漕いで！
元気に船出しましょう！」
そう叫ぶ間にも 激しい稲妻と^{ひょう}雹が
彼らの行く手に 叩きつけた
海一面に 25

島 塔 岩から
青いのろしが次々と上がり
突風の中 音はなかったが
大砲が間髪いれず 赤い火を吹いた
風下から 30

III

「怖いのか？」「怖いの？」
「見えるのか？」「聞こえる？」
「我々は この荒海を
突き進もうじゃないか
私と君で」 35

大きな軍人マントが
恋人たちを覆った
二人の血はどくどくと音をたて脈打ち
誇り高き希望を呟く
そっと 低い声で 40

波荒れ狂う大海は
動く山のごとく
下へ 上へ
沈んで 砕け 向きを変えた
あちらへ こちらへ 45

IV

要塞の中
青ざめた女門番の傍に
鞭でしたたか打たれた獵犬のように
花婿が立っている
恥辱に蝕まれて 50

一番上の監視塔で
死神のように
白髪の暴君なる父親が立っている
大あらしも彼の声に比べれば
大人しいもの 55

かつて子供に浴びせかけられた
激しい罵詈雑言で
我が名を引き継ぐ 最良の
最愛の そして最後の我が子への怒りを
爆発させる 60

(伊藤真紀訳)